

京都府津波浸水想定概要

1 設定の趣旨

津波防災地域づくりに関する法律に基づき、津波避難対策の基礎資料として、「発生頻度は極めて低いものの、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波」を対象に津波浸水想定を設定。

2 対象津波（※ 断層位置は裏面のとおり）

過去に発生した津波	日本海中部地震(1983年)による津波
発生が想定される津波	「日本海における大規模地震に関する調査検討会」(事務局：国交省等)が設定した以下の断層地震による津波(府域に影響のあるもの) F20、F24、F49、F52、F53、F54

3 浸水想定概要

(1) 各市町沿岸の最高津波水位

市町名	地点	最高津波水位 (T.P.)	陸域の 標高	最高津波 到達時間	断層
舞鶴市	田井地区(崖地)	8.8m	約11m	45分	F49
宮津市	栗田地区(崖地)	3.5m	約15m	49分	F49
与謝野町	浜町区野田地域(平地)	0.6m	約1m	257分	F53
伊根町	本庄浜地区(崖地)	10.9m	約20m	32分	F49
京丹後市	丹後町袖志地区(崖地)	8.5m	約17m	28分	F49

各市町の最高津波水位となる地点では、陸域の標高が津波水位を上回っている。

(2) 各市町の主要な地域における最高津波水位

市町名	地点	最高津波水位 (T.P.)	浸水想定 図面番号	最高津波 到達時間	断層
舞鶴市	浜	1.3m	3	52分	F53
宮津市	宮津	2.0m	7	92分	F53
与謝野町	野田川河口	0.6m	8	261分	F53
伊根町	伊根	2.0m	10	71分	F52
京丹後市	浅茂川	3.3m	16	31分	F49

4 対策の方針

本浸水想定に基づき地域防災計画の修正を行い、平成28年度に津波被害想定
の検討や津波災害警戒区域の指定を行うとともに、各沿岸市町における津波避難
対策等の見直しを図る。

5 公開URL

<http://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/news/2803tsunamisotei.html>

断層位置図



F20

F24

日本海中部地震

F49

F52

F54

F53

